

# What's SHIZU-GIN?

第114期 営業のご報告

2020  
June



第14次中期経営計画

# COLORs

～多彩～

Top Message

地域のお客さまの  
夢の実現に寄り添う  
課題解決型企業グループへの変革

頭取 柴田 久

新型コロナウイルス感染症で亡くなられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、罹患された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。また、罹患された皆さまの早期回復と感染の早期収束を心よりお祈り申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大は世界経済全体に大きな影を落とし、国内でも家計や企業の経済活動が急速に縮小するという、過去に例を見ない極めて厳しい局面を迎えています。静岡県内においても観光業、製造業をはじめとする幅広い業種、そして個人の生活に至るまで影響は広がり、経済回復への道のりは険しいと言わざるをえない状況にあります。

こうした厳しく、難しい環境にあって、静岡銀行グループでは、本年4月、第14次中期経営計画「COLORs～多彩～」をスタートさせました。この計画では、社会構造の変化や技術の進展にともない金融機関を取り巻く環境や求められる役割が大きく変わるなか、静岡銀行グループが将来にわたって地域とともに持続的な成長を遂げていくため、大きく2つのビジョンを掲げ、その実現に向けて取り組みます。1つは、長期的な視点で、「地域の未来にコミットし、地域の成長をプロデュースする企業グループ」を目指すこと。もう1つは、その長期ビジョンを実現するために、まずはこれからの3年間でグループ経営の一層の強化を図り、「地域のお客さまの夢の実現に寄り添う、課題解決型企業グループ」に変革することです。この第14次中期経営計画の概要は本誌でお示ししているとおりです。

また、本誌では、「地域と手を携えてともに成長する」「ステークホルダー（地域、お客さま、株主、従業員）の皆さまを私たちの金融サービスを通じてつなぐ」など、さまざまな思いを込めて戦略を

推進してきた第13次中期経営計画「TSUNAGU～つなぐ」の最終年度における活動や3年間の振り返りについてもお示ししています。

一例を紹介すると、本年3月、新型コロナウイルスの感染拡大防止を図りつつも、地域経済の将来につなぐ歩みは止めないよう、静岡県内の農業関連事業者と首都圏のスタートアップ企業（情報通信技術分野）をつなぐ「TECH BEAT Shizuoka for Agri」をオンライン形式で開催しました。初めての試みでしたが、商談やビジネスマッチングの新たな可能性を見出すことができた実感しています。

さて、私たち地域金融機関にとって、いかなるときも地域の成長、発展なくして自らの持続的な成長はありません。現在、静岡銀行グループでは、新型コロナウイルスによる影響を踏まえ、資金繰り支援や資産運用のアフターフォローなど、地域やお客さまに寄り添い、さまざまなご相談に応じることを最優先課題として位置づけ、日々の業務に取り組んでいます。これも第14次中期経営計画でビジョンとして掲げる「課題解決型企業グループ」の実践にほかなりません。資金供給や経営改善支援など、総合金融グループとしての期待役割を最大限に発揮して地域経済を守ることは、プラットフォームやフィンテック事業者には代替することができない、私たちの大切な役割であると考えています。

地域の皆さまと手を携えて、まずはこの難局をともに乗り越え、新型コロナウイルス感染症が収束したあとの地域経済に明るい灯をともしよう、グループ一丸となって全力をあげて取り組んでまいりたいと思います。

皆さまにおかれては、変わらぬご支援をたまりませんようお願い申し上げます。

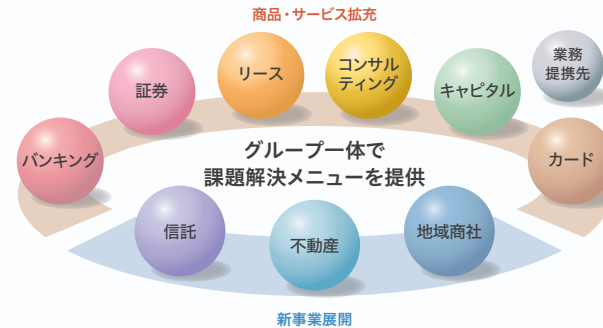
Contents

- |                   |                  |                 |
|-------------------|------------------|-----------------|
| 1 Top Message     | 7 Topics         | 13 地域社会への貢献     |
| 3 第14次中期経営計画 スタート | 9 営業のご報告         | 17 第114期 営業のご報告 |
| 5 第13次中期経営計画 総括   | 12 Shizugin:ship | 21 決算情報         |

# COLORs ~ 多彩 ~

第14次中期経営計画「COLORs ~ 多彩 ~」では、基本理念の実践に加え、SDGsの理念や主要原則をグループ経営戦略に反映し、「これからも金融を通して地域から必要とされる企業グループとして存在し続ける」ことを目指します。

## 「課題解決型企業グループ」の姿



目標とする指標(連結ベース)		2022年度計画
収益性	経常利益	800億円以上
	ROE	5%以上
健全性	普通株式等Tier1比率	14%以上
その他	OHR	55%程度
	株主還元	中長期的に50%以上

## 3 3年計画 第14次中期経営計画

2020-2022

## 10 10年後の目指す姿 2030

グループビジョン

**3年ビジョン**  
 地域のお客さまの夢の実現に寄り添う  
 課題解決型企業グループへの変革

地域から必要とされる企業グループへ

- ニーズの本質をとらえる力
- 高い課題解決力
- 経済的・社会的サステナビリティ

**10年ビジョン**  
 地域の未来にコミットし  
 地域の成長をプロデュースする  
 企業グループ

第13次中期経営計画から継続して取り組む分野

3年戦略

「10年ビジョン」で掲げる姿の実現に向け取り組む分野

10年戦略

ビジョン実現に向けた戦略展開

グループ機能発揮

**基本戦略1**  
**グループ営業戦略**

グループ全体で多様なニーズに対応するほか、他の金融機関とも協力したお客さまの利便性向上、第13次中期経営計画における構造改革の完結に取り組みます

新たな収益機会の追求

**基本戦略2**  
**イノベーション戦略**

お客さまの行動変化に合わせたチャネルの刷新、グローバル市場の成長の取り込みなど、新たな視点でグループ全体の収益機会を追求します

経営資源の最適な配賦

**基本戦略3**  
**ビジネスポートフォリオ戦略**

人的資源をグループ全体最適となるよう配賦するとともに、リスクとリターンを見極めながら将来のグループ収益を支える新たな取引・資産を積み上げます

地域産業の創出

**10年戦略**  
**地域プロデュース戦略**

地域の産業や経済の育成・成長への貢献をはじめ、SDGsや地域貢献の観点から、さまざまな課題の解決に向けた活動に中長期的に取り組めます

地域の魅力向上

第13次  
 中期経営計画

Tsunagu

3つの  
 事業領域での  
 取り組み

3つの  
 構造改革

を経て…

詳細はP5-6を  
 ご参照ください



# 第13次中期経営計画 を振り返る



ビジョン Innovative Bank ~地域とともに新たな価値を創造し続ける『しずぎん』

## 3つの事業領域での取り組み

### ■ コアビジネス (地域)

預金、貸出金の残高が伸長

### ■ 首都圏

ストラクチャードファイナンスが  
収益の柱に成長

### ■ ネーションワイド

インターネット支店が安定した  
預金調達基盤を確立

## 3つの構造改革

### ■ 収益

新たな事業領域における  
獲得収益が大きく成長

### ■ ヒト

働き方改革・ダイバーシティを推進

### ■ チャネル

エリア単位でフルバンク機能を提供  
非対面チャネルの利便性を向上

## 異業種企業との新たなビジネス展開

異業種企業との連携を通じて構築した  
スタートアップ企業とのネットワークを活用し、  
「TECH BEAT Shizuoka」を開催

### TECH BEAT Shizuoka

静岡県の産業活性化や新たな産業創出を目的  
に、首都圏を中心とするスタートアップ企業と  
静岡県内の企業をマッチングする先端テクノ  
ロジーフェア

- 2019年7月開催
- 第1回 3,300名が来場し、技術・商品展示  
や個別商談会を実施
- 2020年3月開催(オンライン)
- 第2回 農林畜産業をテーマに「TECH BEAT  
Shizuoka for Agri」として開催



第12次中期経営計画から継続して異業種企業との連携を拡大し、  
銀行経営を変革させる新たなビジネスを創出

## 異業種連携を通じた新たなビジネスモデルの創出

### ■ ローン市場での新たな取り組み

異業種のネットワークを活用した住宅ローン  
の全国展開



### ■ 新たな金融サービスの提供

従来の銀行にない新たなサービスを提供



### ■ ベンチャー企業とのネットワーク構築

ファンドへの出資を通じた広範な  
ネットワークを構築



### ■ 非対面チャネルでのビジネス拡大

銀証連携の  
最重要パートナー



### ■ AI技術の活用

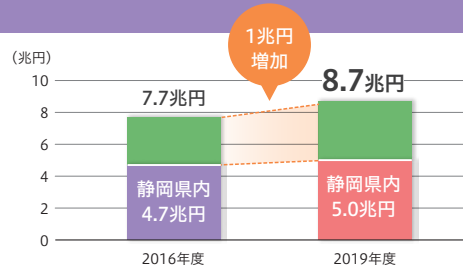
AI技術に強みをもつ  
2社との提携



## 貸出金・預金の推移

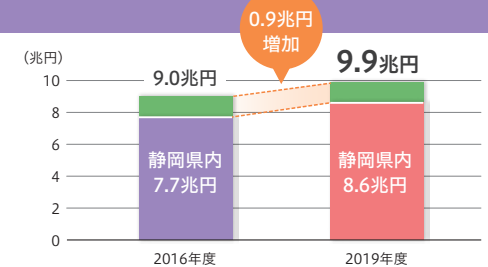
### ■ 貸出金

貸出金残高(平残)は、第13次中期経営  
計画の3年間で1兆円増加、静岡県内では  
0.3兆円増加しました。



### ■ 預金

預金残高(平残)は、第13次中期経営  
計画の3年間で静岡県内を中心に0.9兆円  
増加しました。



## 第5回「地方創生全体会議」を開催

2019年10月、静岡県内の首長ならびに地方公共団体の地方創生担当者のほか、商工会議所、県内大学関係者など約500名がテレビ会議システムを通じて参加。訪日外国人客の消費動向や受け入れ体制の整備などをテーマに、地方創生に向けた情報を共有しました。



2019年10月30日  
メイン会場 しずぎん本部タワー

講演1

**インバウンド消費の活性化に係る取組みについて**  
(株)JTB 執行役員  
訪日インバウンドビジネス推進部長  
坪井 泰博氏

講演2

**富士宮市の地方創生の取組みについて**  
富士宮市長  
須藤 秀忠氏

## (株)ふじのくに物産と資本業務提携契約を締結



2020年2月、地域商社をはじめとする地域の将来の成長に向けた事業への取り組みを目的に締結。今後、静岡県の特産品や農林水産物、観光資源などを活用した新事業の創出や、地域が抱える課題の解決に向け「地域プラットフォーム事業」を展開します。

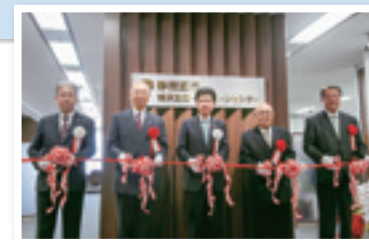
## 浜松市・浜松医科大学と「遺贈に関する協定」を締結

お客さまの想いを確かな形として残すため、浜松市と浜松医科大学それぞれと協定を締結しました。遺贈を希望される方からのご相談や遺言書の作成支援などに取り組んでいます。



## 横浜支店・横浜ローンセンター 移転オープン

2020年2月、JR横浜駅東口直結のスカイビル22階に移転。安心してご利用いただけるよう、個室タイプの相談ブースを設けるなど、お客さまとのコミュニケーションを重視した店舗レイアウトにしました。本年4月には、静銀ティーエム証券横浜支店も移転したことから、静岡銀行グループの金融商品などワンストップサービスの提供が可能となりました。



### 【タブレット端末の試行】

新規口座開設や住所変更など、手続きのセルフ化・デジタル化を進め、お客さまの利便性向上を目指します



タブレット端末操作画面

## TECH BEAT Shizuoka for Agri を開催



当日商談件数/69件  
セッション視聴者/1,685名  
(アーカイブ配信を含む)

2020年3月、首都圏の情報通信技術分野のスタートアップ企業と静岡県内の農業関連事業者をつなぐ商談会をオンライン形式で開催。



Online Business Meeting!

### 【参加者の声】

- 新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から各種イベントが中止するなかで、先端企業の事業を知る機会を得て、たいへん有意義だった
- オンラインでの商談は、出張コストをかけずに多数のマッチング機会を得られて効率的だった



## 3つの人事関連制度を新設

地域に密着した人材の育成と雇用創出をめざして、新たに3つの人事関連制度を制定しました。

### 奨学金返済支援制度

- 返済義務のある若年層を対象に、静岡銀行共済組合で借り替えて返済を支援
- 勤続年数に応じて返済支援金を支給し、負担を軽減(入行10年目まで)

### 地域スポーツ・文化活動団体からの正社員採用

- 地域のスポーツ・文化活動団体に所属する選手、団員を静岡銀行グループで採用
- 試合や公演などの活動を優先し、平常時は銀行業務に従事

### 大学進学を支援する高校生採用の再開

- 大学の夜間コース、通信制大学を受験し、4年間は就業と通学の両立を支援
- 受験料と学費は静岡銀行が負担
- 2021年3月に県内高等学校の卒業生から採用開始

# 営業のご報告



## ソリューション営業

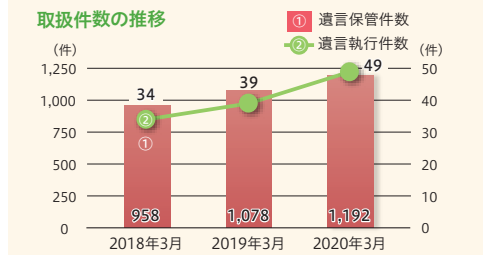
### 相続・事業承継は「しずぎん」へ!

「相続」や「事業承継」に関するご相談に、法人・個人の担当者が連携し、お客さまのニーズを起点とした多面的かつ総合的な解決策をご提案します。

### 相続サポート ← 一体推進 → 事業承継サポート

**2019年度実績**

- 遺言信託成約 167件
- 遺産整理成約 48件

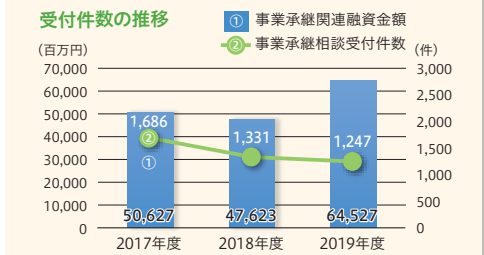


**来店予約サービスの開始**

相続に関する相談機会の充実を図り、より多くのお客さまに利用していただけるよう、ホームページ上で来店予約サービスを開始しました。

**2019年度実績**

- 資産有効活用 67件
- 自社株対策 637件
- オーナー相続 297件
- 資本政策 42件
- その他事業承継 204件



**M&Aセミナー**

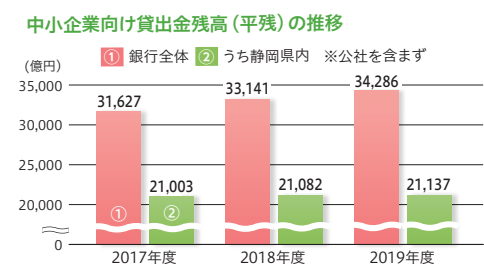
2019年10月、(株)日本M&Aセンターと共催で「中堅・中小企業のための事業承継・M&Aセミナー」を開催。静岡県内3会場に95名が参加されました。

## 事業性評価

地域経済・産業の現況や見通しを踏まえて、お取引先の成長の可能性や事業の将来性を適切に評価する「事業性評価」を重視した融資を通じて、お客さまの事業や地域の発展を支えています。

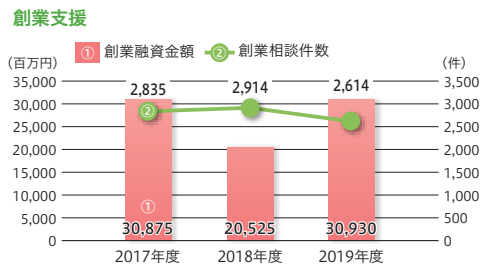
**主な実績**

	2019年度実績
事業性評価用コベナンツ付融資 将来性やキャッシュフローを重視	396件/407億円
しずおか創生・地域企業応援ローン 地域資源の活用や雇用拡大をサポート	90件/160億円
ABL(資産担保融資) 在庫や動産の価値に着目した融資	79件/ 69億円
経営サポート資金・ターンアラウンド資金 経営改善・事業再生をサポート	69件/ 14億円



## 創業・新事業支援

地域の創業・新事業を支援するため、県内の各市町の創業支援機関と連携したサポートに取り組んでいます。



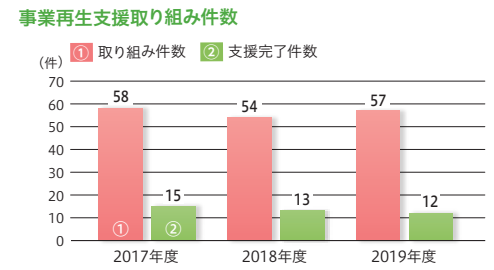
### 「しずおか観光活性化ファンド」投資第8号 ～経営ノウハウや人的ネットワークの提供など幅広くサポート

牧之原市の静波海岸に人工サーフィンブルの建設を進めるSurf Stadium Japan株式会社への投資を決定。今秋、マリトレジャー全般を楽しめる新たなスポットがオープンします。

- 【投資日】2020年8月(予定) 【投資額】上限3億円(社債引受)
- 投資先の概要
- 【企業名】Surf Stadium Japan株式会社
- 【代表者】安達 俊彦
- 【事業内容】スポーツ施設(人工サーフィンブル)の運営ほか

## 経営改善・事業再生支援

お客さまの経営状態に応じて、中小企業再生支援協議会などの外部機関等と連携して事業再生のサポートに取り組んでいます。



最新のテクノロジーで初級者からトップアスリートまでが楽しめる多彩な波質を自在に作り出すサーフィンプール!



### 「しずおか8号投資ファンド」を設立 ～事業承継・成長分野への参入を資金面からサポート

株式上場を志向するベンチャー・スタートアップ企業や、成長分野に取り組む企業、事業承継に取り組む企業など、地域経済の将来を担う企業の支援を目的に、グループ会社の静岡キャピタル(株)と共同で設立しました。

- 【出資日】2020年4月7日
- 【総資金量】15億円
- 【出資者】静岡銀行  
静岡キャピタル

**これまでの投資ファンド**

	1号	2号	3号	4号	5号	6号	7号
設立年	1996年	2001年	2005年	2007年	2011年	2015年	2017年
総資金量	5億円	10億円	10億円	10億円	10億円	10億円	10億円
投資社数	16社	27社	30社	20社	24社	21社	24社

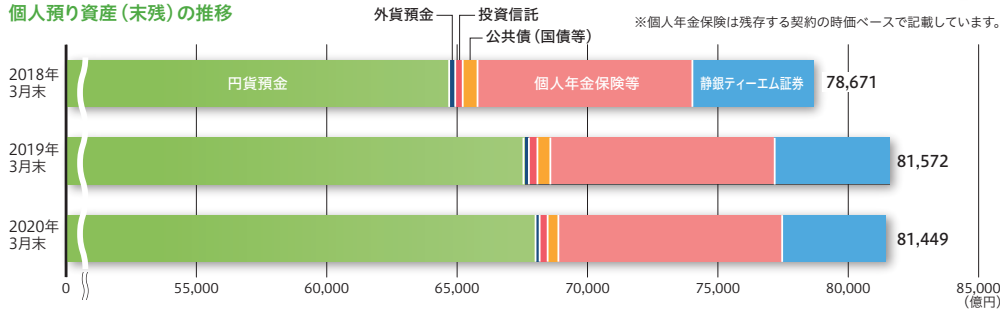


## 個人預り資産

2020年3月末の静銀ティーエム証券を含む個人預り資産の残高は、2019年3月末から123億円減少し、8兆1,449億円となりました。



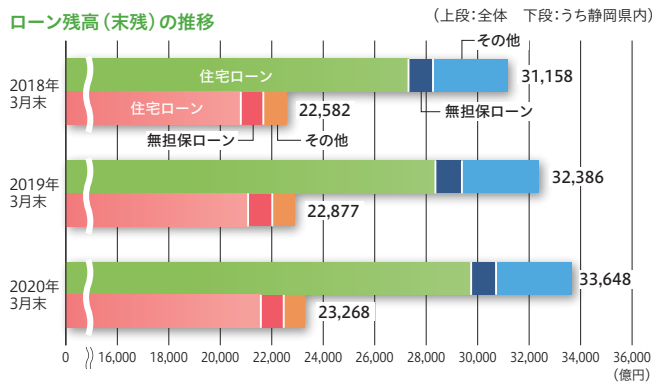
### 個人預り資産(末残)の推移



## ローン

2020年3月末の個人のお客さま向けローンの残高は、3兆3,648億円で、住宅ローンを中心に、2019年3月末より1,262億円増加しました。

### ローン残高(末残)の推移

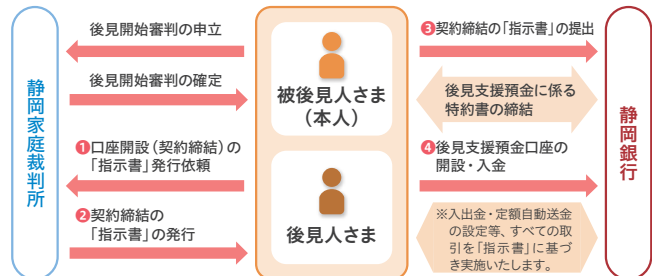


- ローンの内訳
    - 住宅ローン
    - 無担保ローン
    - その他(資産形成ローン等)
  - うち静岡県内
    - 住宅ローン
    - 無担保ローン
    - その他(資産形成ローン等)
- ※「住宅ローン」はアパートローンを含む

## 「しずぎん後見支援預金」の取扱開始

成年後見制度を利用されているお客さまの財産保護を目的に取扱を開始しました。

- 【取扱開始日】**2020年2月10日  
**【取扱店】**静岡県内の全営業店  
**【対象者】**後見人が選任されている成年被後見人で、静岡家庭裁判所(本庁・支部・出張所)から後見支援預金の利用について「指示書」の交付を受けた方
- メリット**
- 公平性・透明性の高い財産管理が可能

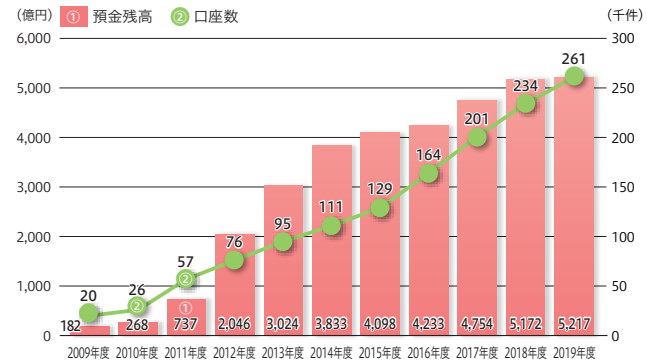


## インターネット支店

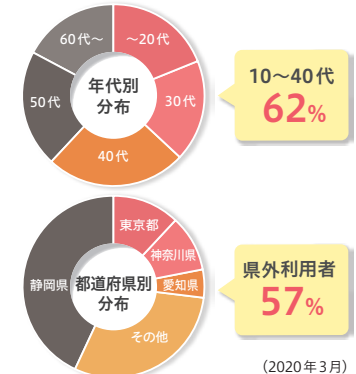
口座開設のペーパーレス化など、より便利にお使いいただけるよう機能の改良、拡張に取り組んだ結果、2020年3月末の口座数は26万口座を超えています。また、2019年度の預金残高(平残)は5,217億円、総貸出残高263億円となりました。インターネットにより取引が完結するマイカーローンやカードローンなどを通じ、より身近で利便性の高いサービスの提供に取り組んでいます。



### インターネット支店の預金残高(平残)・口座数推移



### 顧客構成



## 次世代経営者塾 Shizugin:ship ~経営者としてのスキルを磨き、生涯の友人と出会う場所

2019年度の活動実績 参加人数のべ **1,384**人

会員数 **754**社 **1,111**名(2020年3月末現在)

内容	開催実績
セミナー(著名な経営者や専門家の講演会)	11回
ゼミナール(テーマを定め深く学ぶ講座)	34講座54回
エグゼクティブ	3講座12回
ミドル	6講座13回
ベーシック	25講座29回
視察会(体験を通じ知見を広める)	2回

**特別セミナー** これからの時代に求められる日本語力  
 開催日 2019年11月2日  
 講師 明治大学教授 齋藤孝氏

**参加者の声**

- 「人生が変わる!」と思えるほど楽しく刺激的だった
- 語彙力を磨くことの大切さ、日本語のすばらしさをあらためて感じた



### 特別セミナー NEWTYPE ニュータイプの時代 ~新時代を生き抜く思考・行動様式~

開催日 2020年2月8日  
 講師 独立研究者、著作家  
 パブリックスピーカー 山口周氏



**参加者の声**

- 現在の課題に直結した内容でたいへん参考になった
- 「VUCA時代」、リベラルアーツの重要性を再確認できた

# 地域社会への貢献



## 文化・スポーツの振興

### しずぎんユーフォニア・コンサート

1993年にスタートして以来69回開催し、国内外の一流アーティストの演奏を地域の皆さまにお楽しみいただいています。入場料収入は、公益信託「しずぎんふるさと環境保全基金」に寄付しています。



第69回 平田耕治 (2020年2月 静岡市)

### 静岡交響楽団

オフィシャルパートナーとして、静岡県を代表するオーケストラの活動を支援しています。



静岡銀行 presents「クラシック・ポップスコンサート」(2019年5月 静岡市)

### しずぎんカルチャー・フォーラム「しずぎん寄席」

落語会の開催を通じて、地域の皆さまに笑顔あふれるひとときをお届けしています。



第24回 春風亭一之輔・古今亭文菊 (2020年1月 静岡市)

## スポーツ大会

### 少年サッカー

11歳以下の静岡県チャンピオンを決める「しずぎんカップ静岡県ユースU11サッカー大会」、全国各地から小学生が清水に集う「全国少年少女草サッカー大会」に協賛しています。



### 少年野球

静岡県スポーツ少年団学童軟式野球大会に「しずぎんカップ」として協賛しています。



## 金融経済教育への取り組み

### 金融経済教育

常葉大学、静岡産業大学で「金融講座」を開講し、地域金融機関が静岡県経済に果たす役割などを解説。これまでに約2,300名の大学生が受講しています。このほか県内各地の学校で、金融や経済に関する教育機会の提供に取り組んでいます。



### しずぎんアジア留学生奨学金制度

将来アジア地域を中心に活躍が期待される優秀な留学生の支援に取り組んでいます。2011年に創設して以来、11カ国・89名に奨学金を支給しています。



### 「エコノミクス甲子園」静岡大会

2019年度は、静岡県内の高校から35チーム・総勢70名が経済や金融の知識を問うクイズに挑戦。浜松学芸高校のチームが優勝し、全国大会への切符を手に入れました。



### 「静岡なんでもランキング」の寄贈



静岡県の経済をより深く理解してもらうことを目的に、2020年4月に新しく中学2年生になった県下約33,000名の生徒に寄贈しました。

本書は、静岡県経済研究所が発刊した「静岡県経済白書2019-2020年版」のダイジェスト版になります。



## 環境への取り組み

～豊かな自然環境を次の世代へ引き継ぐために



地域との共生をめざす基本理念「地域とともに夢と豊かさを広げます。」の実践に向けて、地域の環境保全に取り組んでいます。

### 「気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD)」提言への賛同を表明

2020年3月、気候変動が企業の財務内容に与える影響について適切な情報開示を求める「TCFD」の提言への賛同を表明しました。今後も、関連情報の積極的な開示に努めるとともに、地域の持続的な成長に向けて、環境などの社会問題にグループ一体となって取り組みます。



#### 〈TCFD (Task Force on Climate-related Financial Disclosures) とは〉

- 主要国の中央銀行や金融監督当局などが参加する金融安定理事会 (FSB) により設立されたタスクフォース
- 投資家への適切な情報提供を目的に、気候関連財務情報の開示を企業に促している

### 「しずぎんエコアイデア・コンテスト」の実施

将来を担う子どもたちに、環境への関心を高めてもらうため、環境問題の改善に向けたアイデアを募集しました。2019年度は、県内の小学生から1,030作品の応募があり、選考の結果、最優秀賞1名、優秀賞10名を決定し、学校賞として6校を表彰しました。



### しずぎんECO口座

紙の通帳を発行しない「Web総合口座」、インターネット支店専用口座「WebWallet」をECO口座として推進しています。紙の削減費用の一部を「富士山基金」に寄付しています。

寄付実績	2018年度下期	2019年度上期	2019年度下期
	1,039,900円	911,300円	1,000,650円



### 「小さな親切」運動

かけがえのない郷土の自然環境を守り、次世代につなぐため、静銀総合サービス(株)内に静岡県本部を設置し、里山づくりやクリーン作戦など、環境保全活動に取り組んでいます。



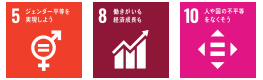
愛鷹運動公園 (2020年2月)



やいづビーチ (2019年11月)

## だれもがイキイキと働ける職場づくり

～従業員満足の上をめざして



多様な価値観をもつ従業員一人ひとりが、それぞれのライフステージに合わせたキャリアの実現に向け、チャレンジできる職場づくりに取り組んでいます。

### 「マイキャリア・デザイン制度 (公募制度)」の新設

ワークスタイル・イノベーションの一環として、グループ従業員一人ひとりが、自らキャリアを考え形成することを支援するため、多様な成長機会に挑戦できる「マイキャリア・デザイン制度」をスタートしました。2020年2月に実施した第1回目の公募には、70名を超える応募が集まりました。



#### 公募内容

行外派遣 行内トレーニー	最先端の金融商品・サービスに加え、金融以外の専門知識・経験を得ることを目的とした、他の金融機関や異業種企業等への派遣、海外店等へのトレーニー
地域企業派遣	地域企業が抱える潜在ニーズや課題への理解を深め、ソリューションを提供することを目的とした地域企業への派遣
グループ会社を 含めた異動希望	銀行およびすべてのグループ会社を対象に、キャリア志向や適性にに応じて、希望部署で多様な経験を積むことができる制度 <ul style="list-style-type: none"> <li>● グループ会社間転籍制度</li> <li>● ポストチャレンジ(希望する部署へ異動できる制度)</li> <li>● サイドジョブ(週1日を希望する部署で勤務できる制度)</li> </ul>

### 女性の活躍推進への取り組み

#### ■ キャリアアップ支援

静岡銀行では、指導的地位(課長級以上の役職者)にある女性比率の向上を目指し、マネジメントを担う人材の育成に力を入れ、積極的な登用に取り組んでいます。

#### 指導的地位にある 女性の比率

2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
14.1%	15.0%	15.7%	16.1%

#### ■ 女性チーム「F\*F(エフエフ)」の活動

異なるライフステージにある女性従業員で構成する「F\*F」では、仕事と私生活両面の充実を実感できる職場環境の実現に向けて取り組んでいます。2019年度は、すべての従業員を対象に「仕事のやりがい」「モチベーション」「ワークライフバランス」の3つを切り口としたアンケートを実施し、その結果を検証・分析したうえで、経営に向けて提言を行いました。今後は、第14次中期経営計画において、組織改革や文化風土改革に向けた施策を検討していきます。

### ダイバーシティ実現への取り組み ～しずぎんハートフル～

2019年10月に設立したしずぎんハートフル(株)では、本年4月、第1期生となる新入社員6名(特別支援学校の卒業生)を迎え、名刺作成や手形・小切手帳発行などの業務を本格的に開始しました。同年5月には、「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づいた「特例子会社」の認定を取得しています。



# 第114期 営業のご報告

基本理念 地域とともに夢と豊かさを広げます。



## 静岡銀行の概要 2020年3月31日現在

設立	1943年3月1日
資本金	908億円
貸出金	8兆9,695億円
預金	10兆551億円
総資産	12兆5,056億円
連結自己資本比率	15.59%(うち普通株式等Tier1比率 15.59%)
従業員	2,755人
本店	静岡市葵区呉服町1丁目10番地 TEL(054)261-3131
店舗数	207店舗 静岡県内 173(本支店152・出張所21) 静岡県外 31(支店25・出張所6) 海外 3(支店3)

(注)記載金額は億円未満を切り捨てて表示しています。

## 邦銀トップ水準の格付 2020年3月31日現在

静岡銀行は「ムーディーズ社」など国内外の3つの格付機関から、日本の大手銀行・地方銀行等のなかでトップ水準の格付を取得しています。



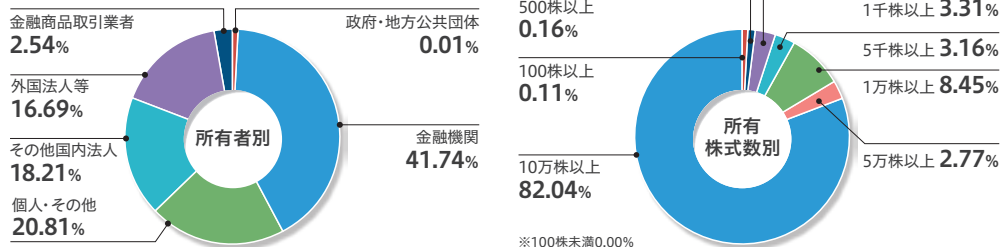
## 株式情報 2020年3月31日現在

### 株式の状況

株主数	22,736名 (2019年3月末比1,216名増)	発行済株式の総数	605,129,069株
		保有自己株式数	31,226,522株※

※2020年5月29日、10,000,000株の消却を実施

### 株式の分布状況(単元未満株式を含む)



## 株主還元状況

DATA.01

- 第13次中期経営計画期間(2017~2019年度)における株主還元の目標「中長期的に株主還元率50%程度(単体ベース)」に則り、業績などを総合的に勘案し、2019年度の1株当たり配当額(年間)は公表どおり22円を予定しています。
- 第14次中期経営計画(2020~2022年度)における株主還元の目標は、「中長期的に株主還元率50%以上(連結ベース)」とし、2020年度の1株当たり配当額(年間)についても22円を予定しています。

### 配当額の推移

( )は中間配当額

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度予想
1株当たり配当額(年間)	20円	21円	22円	22円	22円(11円)
配当利回り(配当/期末株価)	2.20%	2.08%	2.60%	3.34%	—

### 株主への利益配分の状況

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2015~2019年度実績(5年間)
年間配当額①(億円)	122	125	129	126	625(累計)
自己株式取得額②(億円)	85	97	101	86	439(累計)
株主還元額③=①+②(億円)	207	222	230	212	1,064(累計)
当期純利益④(億円)	244	434	426	334	1,879(累計)
配当性向①/④×100(%)	49.83	28.74	30.38	37.75	33.26(平均)
株主還元率③/④×100(%)	84.60	51.16	53.99	63.53	56.63(平均)

## 健全性を示す「自己資本比率」(国際統一基準)

DATA.02

自己資本比率<国際統一基準>は、バーゼル銀行監督委員会が定めた基準により、リスクに応じて計算した「資産(リスク・アセット)」に対する「自己資本」の割合を示す国際的な指標です。

2020年3月末のBIS自己資本比率(連結ベース)および普通株式に係る株主資本等を中心とした普通株式等Tier1比率は、ともに15.59%となりました。

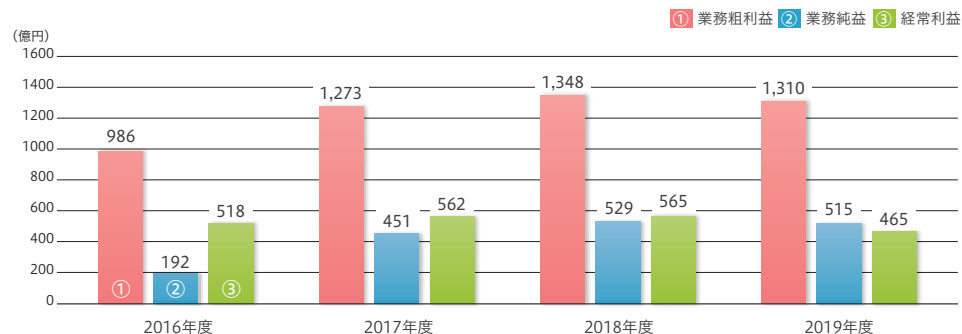
### BIS自己資本比率(連結ベース)



業務粗利益・業務純益・経常利益の推移(単体ベース)

DATA.03

2019年度の業務粗利益は、資金利益の減少などにより減益。業務純益も、経費および一般貸倒引当金繰入額が減少したものの、業務粗利益の減少により減益となり、経常利益についても、不良債権処理額の増加などにより減益となりました。



主な経営指標(単体ベース)

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	前年度比
ROE(当期純利益)	2.76	4.75	4.50	3.54	△0.96
ROA(当期純利益)	0.22	0.40	0.38	0.28	△0.10
OHR(経費/業務粗利益)	80.34	64.55	60.00	60.38	0.38
1株当たり当期純利益(円)	40.04	72.52	72.14	58.05	△14.09

(注)1.前年度比は、表上で算出しています。  
2.ROE(当期純利益)は決算短信ベースにて算出しています。  
3.2019年度の連結ベースROE(当期純利益・決算短信ベース)は3.85%です。

ROE [Return on Equity・自己資本利益率]

自己資本を使ってどれだけ利益をあげたか(資本の効率性)を示す指標です。この値が高いほど効率性が高いことを示します。

ROA [Return on Assets・総資産利益率]

総資産を使ってどれだけ利益をあげたか(資産の効率性)を示す指標です。この値が高いほど効率性が高いことを示します。

OHR [Over Head Ratio・経費率]

一定の業務粗利益を得るためにどれだけ経費をかけたかを示す指標です。この値が低いほど効率性が高いことを示します。

有価証券評価損益の状況

DATA.04

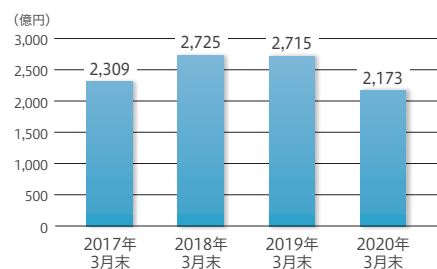
2020年3月末の株式・債券等の有価証券評価損益は+2,173億円と2019年3月末に比べ542億円減少、うち株式評価損益は+2,115億円と2019年3月末に比べ503億円減少しました。

(注)満期保有目的の債券、子会社・関連会社株式を除きます。

日経平均株価

2017年3月末	2018年3月末	2019年3月末	2020年3月末
18,909.26円	21,454.30円	21,205.81円	18,917.01円

有価証券評価損益(単体ベース)

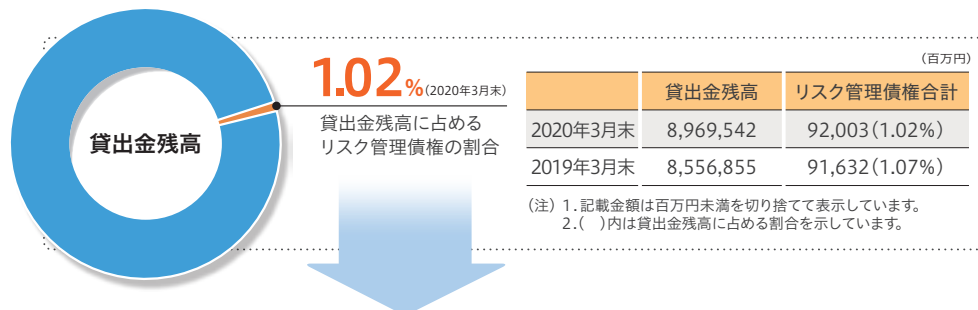


リスク管理債権等の状況

DATA.05

リスク管理債権の状況(単体ベース)

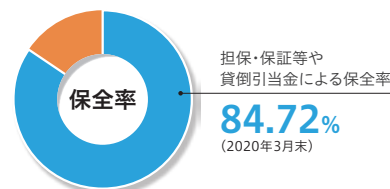
2020年3月末のリスク管理債権の総額は920億円、貸出金残高に占める割合は1.02%と低水準を維持しています。また、「担保・保証等」や「貸倒引当金」による保全率は84.72%となっています。なお、リスク管理債権から部分直接償却額63億円、信用保証協会の保証付貸出金355億円、担保・引当金等362億円を控除した実質的なリスク管理債権は140億円で、貸出金残高に占める割合は0.15%です。



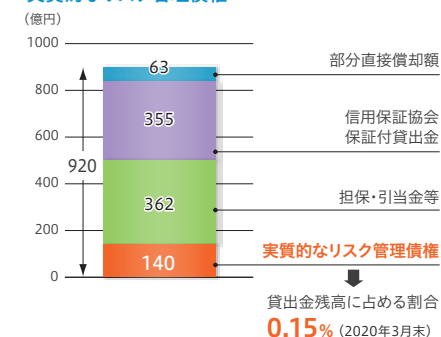
(注)1.記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。  
2.( )内は貸出金残高に占める割合を示しています。

リスク管理債権の内訳

	(百万円)
破綻先債権額	3,305 (0.03%)
延滞債権額	74,883 (0.83%)
3カ月以上延滞債権額	558 (0.00%)
貸出条件緩和債権額	13,255 (0.14%)



実質的なリスク管理債権



金融再生法開示債権の状況(単体ベース)

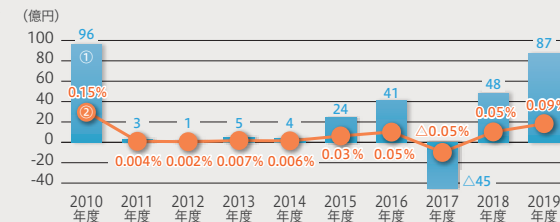
2020年3月末の「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律(金融再生法)」施行規則にもとづく開示債権の総額は922億円、総与信残高に占める割合は1.01%、「担保・保証等」や「貸倒引当金」による保全率は84.75%となっています。

与信関係費用の状況(単体ベース)

2019年度の与信関係費用は87億円、与信関係費用比率は0.09%となりました。

① 与信関係費用 = 不良債権処理額 + 一般貸倒引当金繰入額 - 貸倒引当金戻入益 - 償却債権取立益  
② 与信関係費用比率 = 与信関係費用 / 貸出金平残

与信関係費用・与信関係費用比率の推移





# 決算情報 しずぎんの決算(連結・単体)をお知らせします。

(単位:百万円)

## 貸借対照表(連結)

科目	2019年度末	科目	2019年度末
[資産の部]		[負債の部]	
現金預け金	1,384,218	預金	9,966,195
コールローン及び買入手形	169,388	譲渡性預金	139,324
買入金銭債権	35,820	コールマネー及び売渡手形	131,103
特定取引資産	14,429	売現先勘定	333,380
金銭の信託	4,000	特定取引負債	4,113
有価証券	1,633,713	借入金	671,333
貸出金	8,939,666	外国為替	623
外国為替	11,921	社債	33,914
リース債権及びリース投資資産	82,181	新株予約権付社債	32,649
その他資産	139,205	信託勘定借	229
有形固定資産	63,025	その他負債	111,646
無形固定資産	46,457	退職給付に係る負債	19,515
退職給付に係る資産	7,883	役員退職慰労引当金	401
繰延税金資産	3,074	睡眠預金払戻損失引当金	1,225
支払承諾見返	52,928	偶発損失引当金	1,447
貸倒引当金	△45,087	ポイント引当金	420
投資損失引当金	△55	特別法上の引当金	11
		繰延税金負債	49,513
		支払承諾	52,928
		<b>負債の部合計</b>	<b>11,549,977</b>
		[純資産の部]	
		資本金	90,845
		資本剰余金	54,884
		利益剰余金	721,793
		自己株式	△30,125
		<b>株主資本合計</b>	<b>837,397</b>
		その他有価証券評価差額金	154,363
		繰延ヘッジ損益	407
		為替換算調整勘定	△1,103
		退職給付に係る調整累計額	121
		<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>153,789</b>
		新株予約権	361
		非支配株主持分	1,245
		<b>純資産の部合計</b>	<b>992,794</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>12,542,772</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>12,542,772</b>

## 損益計算書(連結)

科目	2019年度
経常収益	229,295
資金運用収益	134,856
(うち貸出金利息)	105,118
(うち有価証券利息配当金)	24,118
信託報酬	2
役員取引等収益	68,597
特定取引収益	3,047
その他業務収益	9,833
その他経常収益	12,958
<b>経常費用</b>	<b>174,712</b>
資金調達費用	28,666
(うち預金利息)	11,604
役員取引等費用	37,793
その他業務費用	1,939
営業経費	87,571
その他経常費用	18,741
<b>経常利益</b>	<b>54,582</b>
特別利益	401
特別損失	387
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>54,596</b>
法人税、住民税及び事業税	16,571
法人税等調整額	△765
<b>法人税等合計</b>	<b>15,805</b>
<b>当期純利益</b>	<b>38,791</b>
非支配株主に帰属する当期純利益	88
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>38,703</b>

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

## 貸借対照表(単体)

科目	2019年度末	科目	2019年度末
[資産の部]		[負債の部]	
現金預け金	1,373,370	預金	10,055,167
コールローン	169,388	譲渡性預金	143,124
買入金銭債権	35,820	コールマネー	131,103
特定取引資産	11,979	売現先勘定	318,295
金銭の信託	4,000	特定取引負債	4,115
有価証券	1,660,896	借入金	631,655
貸出金	8,969,542	外国為替	632
外国為替	11,882	社債	33,914
その他資産	113,545	新株予約権付社債	32,649
有形固定資産	59,172	信託勘定借	229
無形固定資産	46,953	その他負債	73,428
前払年金費用	8,129	退職給付引当金	18,257
支払承諾見返	80,509	役員退職慰労引当金	159
貸倒引当金	△39,463	睡眠預金払戻損失引当金	1,225
投資損失引当金	△55	偶発損失引当金	1,447
		ポイント引当金	369
		繰延税金負債	49,134
		支払承諾	80,509
		<b>負債の部合計</b>	<b>11,575,419</b>
		[純資産の部]	
		資本金	90,845
		資本剰余金	54,884
		資本準備金	54,884
		利益剰余金	659,913
		利益準備金	90,845
		その他利益剰余金	569,068
		自己株式	△30,125
		<b>株主資本合計</b>	<b>775,517</b>
		その他有価証券評価差額金	154,011
		繰延ヘッジ損益	360
		<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>154,371</b>
		新株予約権	361
		<b>純資産の部合計</b>	<b>930,251</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>12,505,670</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>12,505,670</b>

## 損益計算書(単体)

科目	2019年度
経常収益	183,906
資金運用収益	135,714
(うち貸出金利息)	105,162
信託報酬	2
役員取引等収益	30,797
特定取引収益	633
その他業務収益	9,833
その他経常収益	6,924
<b>経常費用</b>	<b>137,443</b>
資金調達費用	28,865
(うち預金利息)	11,872
役員取引等費用	15,193
その他業務費用	1,939
営業経費	79,372
その他経常費用	12,072
<b>経常利益</b>	<b>46,462</b>
特別利益	411
特別損失	385
<b>税引前当期純利益</b>	<b>46,489</b>
法人税、住民税及び事業税	13,473
法人税等調整額	△426
<b>法人税等合計</b>	<b>13,046</b>
<b>当期純利益</b>	<b>33,442</b>

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

## 決算情報の開示について

静岡銀行では、経営内容や業績などをお知らせするため、決算情報をホームページに掲載しています。

<https://www.shizuokabank.co.jp/ir/financial/index.html>

## 連結子会社(13社)

- 静岡経営コンサルティング(株)  
経営コンサルティング業務/代金回収業務
- 静岡リース(株)  
リース業務
- 静岡ITソリューション(株)  
コンピューター関連業務/計算受託業務

- 静岡信用保証(株)  
信用保証業務
- 静岡ディーシーカード(株)  
クレジットカード業務/信用保証業務
- 静岡ITソリューション(株)  
株式公開支援業務/中小企業再生支援業務

- 静岡ディーエム証券(株)  
金融商品取引業務
- 静岡総合サービス(株)  
人事・総務・財務関連業務  
有料職業紹介業務

- 静岡モーゲージサービス(株)  
銀行担保不動産の評価・調査業務  
貸出に関する集中事務業務
- 静岡ビジネスクリエイト(株)  
為替送信・代金取立等の集中処理業務  
労働者派遣業務

- 欧州静岡銀行  
銀行業務/金融商品取引業務
- Shizuoka Liquidity Reserve Limited  
金銭債権の取得

- しずぎんハートフル(株)  
各種文書の作成・印刷・製本業務

## 持分法適用関連会社(3社)

- 静岡セゾンカード(株)  
クレジットカード・プリペイドカード業務/信用保証業務
- マネックスグループ(株)  
金融商品取引業務等を営む会社の株式の保有
- コモンス投信(株)  
投資運用業務/投資信託販売業務

※2020年4月1日現在

